



ほけんだより

今年度がスタートして1か月が経ちました。さて、今日から5月です。引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を意識した生活を送りましょう。ゴールデンウィークは、1か月間走り切った心と体を休め、リフレッシュしてくださいね。

5/9(金)心電図検査のお知らせ(7年生のみ)

場 所:会議室(前期課程校舎)

順 番:1年生→4年生→7年生

服 装:体操服

(会議室の中に入ったら、下は半ズボン、
上は下着を外して、Tシャツ一枚になる。)

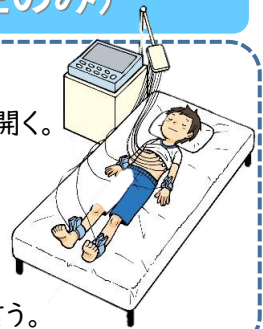
注意事項:

①名前を言って台に横になり、足を少し開く。

②力を抜いて静かにする。

(胸に小さな機械をつけ、手首と足首に
洗濯ばさみのような機械をつけます。)

③終わったら、検査技師の方にお礼を言う。



～心電図検査で何を調べ、何がわかるの?!～

心臓は、全身に血液を送るために収縮を繰り返しています。その時に、心臓の筋肉から微弱な電流が発生します。その電流を波形として記録して、その波形の乱れから心臓全体の働きに異常はないか、心臓病等の病気があるかどうかを調べるのが、心電図検査です。



1回の心臓の収縮は、このようなP波・QRS波・T波という組み合わせで表示されます。心臓が規則的に動いていれば、P波は常に一定間隔ででます。

～心臓のお話～

○心臓の働き・・・

心臓は、収縮を繰り返して、全身に血液を送る「ポンプ」の働きをしています。心臓のポンプの力は、血液を9メートル以上飛ばせるほど強いです。

○心臓の大きさ・・・

手をグーに握ったくらいの大きさです。

○心臓はどこにあるのか・・・

よく、心臓は左にあると言われますが、胸のほぼ真ん中にあります。

○心臓のすごいところ・・・

心臓は、1日に約10万回、収縮を繰り返しています。24時間365日、寝ていても、心臓は生きてきている限り休まずに動いています。一瞬たりとも止まりません。もし心臓が止まってしまったら全身に血液が送れなくなり、生きていくために必要な「酸素や養分」が送れなくなり、命に関わることになります。そう思うと、休むことなくずっと働いている心臓はすごいですね!

